

## 平成28年度第1回 逗子市福祉プラン懇話会概要

日時 2016年（平成28年）7月19日（火）

午後2時30分～

場所 市役所3階 庁議室

### 1. 開 会

### 2. 議題

#### （1）今年度の懇話会体制について

座長に若菜敏孝メンバー、副座長に村田年助メンバーを選出した。

#### （2）福祉プランの進捗状況等について

#### ●地域福祉活動計画

##### 総括

地域福祉推進事業については、個人や地域によって意識に差があるものの、実際に平成27年度お互いさまサポーターに新たに57名の登録があり、また避難支援プラン作成に向けて11の地区でマッチング作業等を実施した。

生活困窮者自立支援事業については、相談件数64件のうち、就労に至り支援終了となったケースは5件であった。

平成28年度以降、より目標達成に向けて着実に事業を推進していく必要があるものの、実施初年度ということを考慮すれば、本計画の取り組みはある程度達成できたとみなせる。

##### 懇話会の総括意見

両事業ともに短期間での評価が難しい内容であり、実施初年度ということを考慮すればある程度達成できたといえるのではないかと。しかし、事業全体を通して、制度等の周知、地域における活動の情報共有という部分が未だ不十分であるといえる。市、社会福祉協議会、地域のそれぞれが、新たな広報手段について検討するとともに、他の地域の取り組みや専門機関等の情報を当懇話会において共有し、それぞれの取り組みに生かしていくことが重要である。

##### 各メンバーからの意見

・市内の各小中学校で実施している福祉教育について、市外の大学や県立高校等地域福祉に取り組んでいるようなところへ見学に行くとか、あるいは見学が無理であれば、そういうチームの方々に来ていただき、取り組んでいるようなことを示していただくことはできないか。

・助けるほうの講座や研修が中心になっているが、助けられ上手になるための講座を企画でき

ないか。

・避難支援プラン作成に向けて、単に働きかけやPRだけでなく、地域に合った進め方あるいは理解が薄いところに対する働きかけ等により、作成に至るまでの支援を個別に進めることができないか。

・お互いさまサポーターについて、数が何名増えたとか結果報告があったが、実際にその活動の内容について、これだけの人数になったからどういう結果になったというところまでの報告が欲しい。

## ●障がい者福祉計画

### 総括

計画以上に進捗している事業もあれば、遅れている事業もある。障害者差別解消法も施行され、障がいに対する周知が今後の課題と考える。評価としては概ね順調に進捗している。

### 懇話会の総括意見

全体的には、予定通り進捗している。障がいの分野は様々な視点から対応が必要だと考えられる。当事者からも広く周知をしていくとともに、計画にある内容が実現できるように、市としても継続して整備等お願いしたい。

### 各委員からの意見

・障がいを正しく理解して、障がい者やその家族を支援するために、認知症サポーター養成講座のような仕組みを作ってはいかがか。研修を受講し、障がいについて理解を深めた障がい者サポーターを育成できるといい。研修については障がい者施設への見学や、聞くだけではなく体験しながら理解を深めるような方法が望ましい。

## ●健康増進計画

### 総括

健康増進計画に位置付けられた3つの取り組みについては、計画どおりに実施し、着実な推進が図られたが、評価が「C」となったのは、評価対象事業が受診率の向上や総合的病院の誘致など、短期間での目標達成が困難なものであり、 今後は、事業ごとに（a）評価が増えていくよう、取り組む必要がある。

具体的には、関係する所管（緑政課等）や、逗葉医師会、（公財）逗葉地域医療センター、逗子市商工会等との連携を今まで以上に深めていく。

### 懇話会の総括意見

目標は長期間に渡って目論むものであり、評価を求めるには時期尚早である。短期間で目標を達成できない事業が多く、現時点での総合評価がCであるのは当然の結果である。しかし、中には自己評価が低い事業もある。もっとできていることを評価してもよいのではないか。

また、事業自体も間違っただけをやっている訳ではないので、自己評価も自虐的になる必要はない。もっとアピールしてもいいのではないか。

#### 各委員からの意見

・計画の総合評価がCと厳しい評価になっていることについて、評価対象について、初年度なのに達成率で見ることが正しいかどうか。評価の基準からしてみれば、正しいと言えるのかもしれないが、全体のバランスから見ると不自然さも残る。懇話会としてはA評価でもいいのではないかと意見もあることから、C評価は少し厳しいのではないか。

### ●高齢者保健福祉計画

#### 総括

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域包括ケアシステム構築の取り組みを進めているが、平成27年度は中心的役割を果たす地域包括支援センターを目標どおり1箇所増設した。

「元気な高齢者」の割合は80.87パーセントになった。また高齢者が自立した生活を維持するため介護予防等の教室、講座等を開催し、実施回数、参加人数は順調に推移している。

#### 懇話会の総括意見

・計画に記載のない基幹型地域包括支援センターを設置しており、基幹型も含めて地域包括支援センターは合計4箇所となる。事業に対して前向きに取り組む姿勢が評価できる。

・一部講座には、参加者が少ないものがあるものの、事業全体から見て、参加人数は確保されている。したがって、「2生きがい・介護予防施策等の推進」の評価への意見と関連し、A評価でよいと思われる。

#### 各委員からの意見

・地域包括ケアシステムの進め方として、フォーマルサービスより、できるだけインフォーマルサービスの領域を広げるような形で進めていただきたい。

### ●子ども・子育て支援事業計画

#### 総括

「誰もが心豊かに子育てできるまち」を目指して各事業とも連携しながら事業展開をしている。

#### 懇話会の総括意見

概ね計画の進行については、評価できる。

#### 各委員からの意見

・教育・保育の量の確保と質の向上については、待機児童をなくすことに重点を置いて考えていただきたい。

●基幹計画進行管理表について

・それぞれ5つの計画の評価は、地域福祉計画・地域福祉活動計画がB、健康増進計画がC、高齢者保健福祉計画がB、障がい者福祉計画がB、子ども・子育て支援事業計画がAということで、福祉プランとしての評価がBとなった。おおむね順調に進捗している。

・評価基準、方法については、もう少し工夫があってもいいんじゃないかという意見も出たが、この評価方法は、総合計画共通の基準なので、福祉プランだけ変えるということはなかなか難しいだろうと思われるので、それについては文章で補足する事が望ましい。

・頂いた意見は、座長、副座長、山口アドバイザーと確認した上で、事務局でまとめ、まとめた結果については後日送付することとする。

(3) その他

福祉プラン懇話会は、年2回の開催を予定している。第2回目については、2月から3月を予定しており、日程等の調整については連絡するのでよろしく願います。